

各 位

会 社 名 ダブル・スコープ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 崔 元 根
 (コード番号 6619 東証第一部)
 問合せ先 取締役 大内秀雄
 (TEL 03 - 5436 - 7155)

2021年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2021年11月15日公表の2021年12月期連結累計期間(2021年1月1日~2021年12月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正することとなりましたのでお知らせいたします。

記

2021年12月期通期連結業績予想数値の修正(2021年1月1日~2021年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	28,000	1,200	—	—	—
今回修正予想(B)	29,900	1,800	△3,400	△3,000	△55.08
増減額(B-A)	1,900	600	—	—	
増減率(%)	6.78	50.00	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年12月期)	18,479	△2,837	△7,821	△11,174	△299.28

【通期業績予想修正の理由】

当連結会計年度の売上高は、当第4四半期連結会計期間の海運事情が比較的落ち着いて推移したため、出荷がおおむね順調に進んだことから、28,000百万円の見込みに対し1,900百万円上回り29,900百万円となる見通しです。営業利益についても、出荷量が増加したことに加え、製品輸送のコスト負担が前回公表時より軽減されたことで、600百万円改善し1,800百万円の見通しとなりました。

また、子会社が発行した転換社債型新株予約権のオプション評価額が確定し、子会社価値上昇に伴うデリバティブ損失額が確定したことにより、通期の経常利益は△3,400百万円、親会社株式に帰属する当期純利益は△3,000百万円となる見通しです。なお、このデリバティブは転換社債を発行している間、転換社債発行会社の評価価値が上昇した場合に損失が発生します。

以上の要因から、2021年11月15日付の公表数値を修正いたします。

【業績予想に関する留意事項】

業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上